

Sバンドを用いる国内移動体衛星通信システムの高速化に関する技術的条件の報告書骨子案

- 1 審議事項
- 2 委員会及び作業班の構成
- 3 審議経過
- 4 審議の概要
  4. 1 高速化対応の改良システムの概要
  4. 2 他の衛星システムや国際的な動向等
  4. 3 高速化に資する技術の概要
- 5 隣接周波数帯を使用する無線システムとの周波数共存
  5. 1 隣接周波数帯の無線システムへの与干渉
  5. 2 隣接周波数帯の無線システムからの被干渉
  5. 3 現行システムとの共存
- 6 一般的条件
  6. 1 必要な機能
  6. 2 無線周波数帯
  6. 3 キャリア周波数間隔
  6. 4 アクセス方式
  6. 5 通信方式
  6. 6 変調方式
  6. 7 伝送速度
  6. 8 セキュリティ対策
- 7 無線設備の技術的条件
  7. 1 基地局の設備
    7. 1. 1 送信装置
      - (1) 空中線電力の許容偏差
      - (2) 周波数の許容偏差

(3) 不要発射の強度の許容値

7. 1. 2 受信装置

(1) 副次的に発射する電波の強度

7. 1. 3 空中線

7. 2 移動局の設備

7. 2. 1 送信装置

(1) 空中線電力の許容偏差

(2) 周波数の許容偏差

(3) 不要発射の強度の許容値

(4) 占有周波数帯幅の許容値

(5) 送信機停波電力レベル

(6) 筐体輻射

7. 2. 2 受信装置

(1) 副次的に発する電波の限度

(2) 筐体輻射

7. 2. 3 空中線

(1) 偏波

8 測定法

8. 1 送信装置

(1) 空中線電力の許容偏差

(2) 周波数の許容偏差

(3) スプリアス発射の強度

(4) 占有周波数帯幅の許容値

(5) 送信機停波電力レベル

(6) 筐体輻射

8. 2 受信装置

(1) 副次的に発する電波の限度

(2) 筐体輻射

以上